

<b>九州大学海外派遣留学生 最終報告書</b>		<p>帰国後 15 日以内に提出してください。</p> <p>提出された情報は、海外留学HPに掲載します。(色のついた部分は掲載しません)</p>
留学先大学名	University of Washington (国名: America )	
留学先学部名(またはプログラム名)	Foster School of Business	
留学期間	2010 年 9 月 ~ 2011 年 6 月	
学部 / 学府・年次	経済 学部 / 学府	4 年次 ~ 5 年次
留学により卒業または修了が遅れる見込みの有無とその期間	有 ・ 無 (期間: 半年 )	
遅れる見込みの方はその理由を書いてください (NO.に 印をつける)	1. 4年次に留学したため 2. 単位が不足するため 3. 新卒で就職したいため 4. その他(具体的に記入)	
卒業を遅らせないためにどのような配慮や工夫をしましたか?		
進路の予定	1. 就職 ( 時期: 4月から / ( 2011 )年 ( 10 )月から) 2. 大学院進学( 大学 学府/研究科 ) 3. その他(具体的に: )	
前項で1と答えた方は、就活時期と方法を教えてください(予定を含む)	<b>アメリカでの留学中にインターンシップを通して仕事のオファーをいただきました。</b>	
進学先や就職先の選定に、留学経験が影響しましたか?	はい	
留学経験は就職活動の際に役立ちましたか?	はい	
<b>1. 留学先大学について</b>		
授業(カリキュラム等)の概要について	<p>授業内容は非常に実践的なものが多く、今まで学んできた知識を実践においてどうやって活かしていくのか、また、実際のビジネスというのがどのようなものなのかがとてもイメージしやすいカリキュラムになっています。Business School においては、レクチャーよりも、クラスディスカッション、チームプロジェクト、プレゼンテーション、クラスアクティビティが多く、能動的な参加が求められます。実際のビジネスでの事例をもとにケーススタディーやプロジェクトを行うため、社会において求められるもの、たとえばタイムプレッシャーがあるなかでクオリティーの高い仕事をこなしていくとか、チームワークや協調性、タイムマネジメントが授業を通して要求されます。様々な企業からのゲストスピーカーによるレクチャーなどもしばしばあり、机上の学習だけではなく、とても実践的なビジネスが学べるところが特徴的です。</p>	

<p>留学先大学のサポート体制について (語学面 / 勉学面 / 精神面 / 住居・生活面など)</p>	<p>留学生がとても多いので、留学生に対するサポートはとても整っています。留学生のための団体があり、毎月たくさんのイベントが開催され、それを通して留学生同士のつながりがとても作りやすいです。また、学習面でも、どの先生もとても親切で、クラスで分からないことがあれば、オフィスアワーなどで個別に詳しく教えてくれます。とても留学生に理解がある学校なので、生活面、学習面ともに、留学生にとってとても過ごしやすい環境だと思います。</p>
<p>留学先大学に対する感想</p>	<p>UWでの留学生活にはとても満足しています。</p> <p>学習面では課題やチームプロジェクトが多く、勉強に終われることもしばしばでしたが、勉強のしやすい環境が整っており、快適に勉学にも励めました。授業以外でもたくさんの機会が与えられています。いろいろな企業が主催するコンペティションがあり、企業の戦略をチームごとに提案したり、ビジネスプランを考案して企業家の前でプレゼンテーションをしたり、能動的になればたくさんの経験が得られる環境がとても素敵です。刺激的な環境におかれて苦戦することもたくさんありましたが、1年間の留学を終え、想像以上の知識が学べたこと、実践で行かせるスキルが身についたという達成感でいっぱいです。</p> <p>また、生活面でもルームメイトに恵まれ充実した生活を送ることができました。Seattleは1年ではすべて見尽くせないほど自然やたくさんのエンターテイメントに恵まれていて、UWはSeattleの街中に立地しているので、ショッピングやおしゃれなカフェ散策など、飽きることがありません。車で30分でもればハイキングやアウトドアも楽しめ、足を伸ばせばオリンピック国立公園やマウントレイニアなど、日本では見ることができない大自然も堪能することができます。</p> <p>レベルの高い学習カリキュラム、意識の高い学生、大自然に囲まれた環境、そして様々なエンターテイメントなど、総合的に見てUWでの学校生活はとても充実したものになりました。</p>

<p>同じ大学への留学を希望する人々へのアドバイス</p>	<p>学習面に関しては、興味のある分野に積極的に挑戦してみてください。授業の数が桁違いに多く履修を決める際にはかなりの時間をかけましたが、じっくりシラバスを読んで慎重に決めることをお勧めします。同じ授業でも、教授によって授業スタイルが違ったり、内容が異なる場合があります。私はよく履修の前に教授について友達に尋ねたり、実際に教授にあって話を聞くようにしていました。教授によって授業は大きく異なります。たとえば、教授がアメリカ人の場合とロシア人の場合ではアクセントが異なり理解が難しいこともありますし、ディスカッションに重点を置く教授もいれば、チームプロジェクトを中心に授業を進める教授もいます。私は自分にあったスタイルを選ぶことで、楽に授業に参加することができました。</p> <p>授業で不安なことがある場合は、隣の人に尋ねたり、教授や TA のオフィスアワーを利用してみてください。みんなびっくりするほど親切です。</p> <p>生活面では、日本ではできないいろいろなことに挑戦してみてください。たとえばワシントンには日本では見られないような大自然がたくさんあります。ハイキングに行くもよし、キャンプするもよし、ここでしかできない体験をたくさんしてほしいです。スタバの発祥の地でもある Seattle には素敵なカフェもたくさんありますし、音楽も盛んです。勉強の合間に、そういった Seattle の一面も楽しめるといいなと思います。また、留学生のためのイベントや、Seattle でのイベントもたくさんあるので積極的に参加して、友達の輪を広げてください。留学中、友達の存在はとても大きいです。</p>
<p><b>2. 事前手続き(ビザ申請など)</b></p>	
<p>ビザの種類</p>	<p>F-1VISA</p>
<p>ビザ申請先</p>	<p>福岡アメリカ領事館</p>
<p>必要書類、手続き方法</p>	<p>入学許可証 (I-20) / SEVIS領収書</p>
<p>手続きに要した時間</p>	<p>必要書類の収集後、すぐに面接を予約し、面接後は5日程度でVISAが届きました。面接は早めに予約することをお勧めします。</p>
<p>その他必要な事前手続き</p>	

3. 日常生活	
日常生活の概要、感想	Seattle では日本のものも簡単に手に入るので、生活に関してはなにも不自由なく暮らせます。日本食のお店もたくさんあるし、食材もすぐに手に入ります。また、Seattle に住む日本人も多いので、病院や空港などで困ることも少ないです。私の住んでいる地域(Revena) はとても治安のいい場所で地域の人たちもとても暖かく、快適に過ごすことができました。UW の学生は UPass というパス(\$99/ Quarter)を購入することができ、バスが乗り放題なのでとても便利です。
生活費(月額)及びおおよその内訳(円換算で)	生活費計 80,000 円/月 (生活費内訳)住居費: 50,000 円(光熱水料込み)、通学費: 0 円、 食費: 10,000 円、電話代: 1,000 円、インターネット代: 0 円、 書籍代: 10,000 円 その他:(具体的に) 娯楽費: 10,000 円 学費・寮費以外に大学へ納入するもの(あれば) 円 (徴収された費用の名目を具体的に: )
日本から持参した方がよいもの(PCや変圧器等の要不要も)	パソコン: なにかと必要です。私はデスクトップは持参、ノートブックはこちらで購入しました。 スーツ: プレゼンテーションではドレスアップが基本になります。 風邪薬: 知らない薬を飲むのが不安な方はぜひ持参することをお勧めします。
これから留学する人への、日常生活(治安対策を含め)に関するアドバイス	Seattle の治安は他の地域に比べてそれほど悪くないですが、夜の一人歩きなどは控えたほうがいいと思います。図書館などを夜遅くまで利用する際は、UW が運営するナイトバスに電話すると、キャンパスから家まで直接送ってくれて便利です。学生だけの無料タクシーのようなものですね。  Seattle は秋から春にかけて雨が続きます。天気が悪いと気分が沈みがちになってしまうこともあるのでビタミン D の摂取がお勧めです。Seattle ではコレを摂取している人がかなり多いです。
お金の管理や受け取り(銀行口座開設や海外送金、またはクレジットカード持参など)について、貴方の留学先国で最も適当な方法を教えてください。	私は郵便局の海外送金で出発前に1年分に必要な額を送金しましたが、結局クレジットカードのほうが便利だったので、それは使いませんでした。こちらでは、小さなお店でもたいていクレジットカードが使えるので、クレジットカードだけでも生活できた気がします。ただし、家賃の支払いなどでチェックが必要な場合は銀行にお金を入れる必要があるので銀行口座を開設してデビットカードを作ると便利です。使い方はクレジットカードとほぼ変わりませんが、チェックが必要な場合は銀行口座が必要です(民間のアパートを借りる場合はたいていがチェックでの支払いになります)。銀行口座の開設はとても簡単です。学校の近くにたくさん銀行があり、留学生に対する対応にもなれているため、難なくできると思います。口座開設にはI-20やIDがいるので忘れずに持って行ってくださいね!!

4. 住居、生活環境		
住居の種類(印をつける)	寮・ホームステイ・ <u>民間アパート</u> ・その他( )	
住所/ 電話番号	2316 NE 65 <sup>th</sup> APT #402 Seattle, WA 98115	
費用(月額)	\$1,200 (ルームメイトとシェア)	
どのようにして見つけたか	不動産の Web サイトにて	
次期留学生に推薦できるかどうか、およびその理由。	民間アパートは、自分で料理したり現地の生活を満喫するのにすごくいいと思います。近所の人とのつながりだとか、学校の寮では経験できないことがたくさんあります。我が家では日本用のトイレの便座を取り付けたり、バルコニーで BBQ パーティーをしたり、自分たちのペースで快適な生活が送れました。バス停も家の目の前で学校まですぐに行ける距離だったので便利でした。アパートを選ぶ際には、アクセスのよさと、近所の治安の良さをしっかりチェックするといいいと思います。	
留學生活を送る上で次期留学生に伝えたい地域情報、生活情報		
5. 準備段階や留學中に役に立ったウェブサイト		
サイト名	URL	コメント
Youmaga.com Craig s list Junglecitcity	http://www.youmaga.com/ http://seattle.craigslist.org/ http://www.junglecitcity.com/	Seattle 日本人コミュニティーのためのサイト クラシファイドなどの情報サイト Seattle 日本人コミュニティーのためのサイト

6. その他の特記事項